

あじさいだより

新年度のご挨拶

社会福祉法人 誠和

特別養護老人ホームあじさいのおか牛窓

施設長(統括管理者) 三石 哲也

皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
新たな年度を迎え、ご挨拶ができますのも、ひとえに皆様のおかげと厚くお礼申し上げます。

昨今の新型コロナウイルスの流行に伴い、皆様には感染予防のため入館禁止などご理解ご協力を賜り大変感謝いたしております。引き続きご迷惑をおかけいたしますが、安心・安全な環境づくりに取り組んでまいります。

また、介護業界におきましては、深刻な人材不足や労働者の働き方改革など様々な対応が求められております。

当法人におきましては、平成30年度には全事業所が電子カルテ化し、特別養護老人ホームにおいては、中四国初のIoT化として電子カルテ、眠りスキャン、ナースコールが連動したシステムが構築され、「利用者の皆様へより安心した介護サービスの提供と、介護職員等における負担軽減などによる生産性の向上」に取り組んでおります。

結果、利用者の皆様の生活の活性化やスタッフの離職率の低下など少しずつではありますが、効果がみられてきております。これからも、地域の中核として皆様に愛され、頼りにして頂けるよう各サービスの一層の充実を図るべく、努力をしております。

今後ともご指導ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

【グループホーム】 プリン・ア・ラ・モード

新型コロナウイルスが流行中…そんなニュースが毎日流れているなか、出かけることも出来ない、ボランティアさんの受け入れも出来ない。

「あ～、ずっと中にいても面白くないなあ～。
そうだ！みんなでおやつを作ろう！！」

何が作りたい？何が食べたい？色んな意見が出ました。和菓子にケーキ、中にはご飯という…(ご飯はお菓子じゃありません笑)

検討した結果、簡単、綺麗、美味しそうということで、

「プリン・ア・ラ・モード」に決定。
「そりゃなんでえ」「食べもんかな」などの声もありましたが、作ってみると楽しそう。プリンの上に思い思いのトッピング、「入れすぎたわ」「きれいに出来たじゃろ」「このままで(プリンのみ)ええわ」などそれぞれの個性が感じられた時間でした。みんな真剣、そして食べた時の満面の笑顔。最高です。

こんな時ですが、みんなで今を乗り越えていきましょう！





ひな祭りビンゴ大会

特別養護老人ホーム(ユニット型)では3月2日に1日早く「ひな祭りビンゴ大会」と題してひな祭りを行いました。

この時期なかなか外へ出られないので、施設の中で盛り上がりとうとビンゴを企画しました。ご利用者の皆様はビンゴって分かるかなあ?などと不安でしたが、いざ始めると...

- ひな人形を眺めながら桃の節句を祝い、楽しいひと時を過ごしました。
- ちなみに、ご利用者様と一緒にスタッフも参加し、ビンゴカードとにらめっこ。
- いくつになってもビンゴって盛り上がりますね(^)/



「リーチ!」「ビンゴ!」「当たりやあせんがぁ!」などと、前の数字とビンゴカードを何度も見比べては思い思いの言葉を口にされ、盛り上がりました。



◆寄付・寄贈御礼(3月)◆

出射 輝子、鳴坂 明美(順不同、敬称略)

ありがとうございました。

【栄養部】

スタッフのひとり言

折にふれ人のやさしさを感じます。

ある時、ご近所の方が助けてくださいました。声をかけてくださり、気にかけてくださいました。本当にありがとうございました。

そのやさしさと感謝の気持ち忘れず仕事や日常生活に生かしていきたいと思えます。

(森本 よしえ)

いつも、休みは何も出来ないまま、あつという間に終わってしまってもったいなかつたなあと後悔してしまいました。学生の頃習った縫い物を、また始めてみたいと思っています。

まだまだ未定ですが、いつか会えるかもしれない孫たちのために何か作れたら楽しいだろうなあと思っています。

まずは、自分の物から作ってみたいです。

(岡本 あけみ)